



国労天車

国労天王寺車掌区分会
発行・荻島 康博
編集・編集部
2026年 7月30日
NO. 1458

「福知山線脱線事故」を繰り返さないために

6月25日から27日に掛け、台風接近に伴い大雨で近畿圏で列車運行乱れによる停車駅通過が発生した。通常乗務なら、乗泊で6時間睡眠のところ1時間の仮眠で乗務から意識が低下となった。

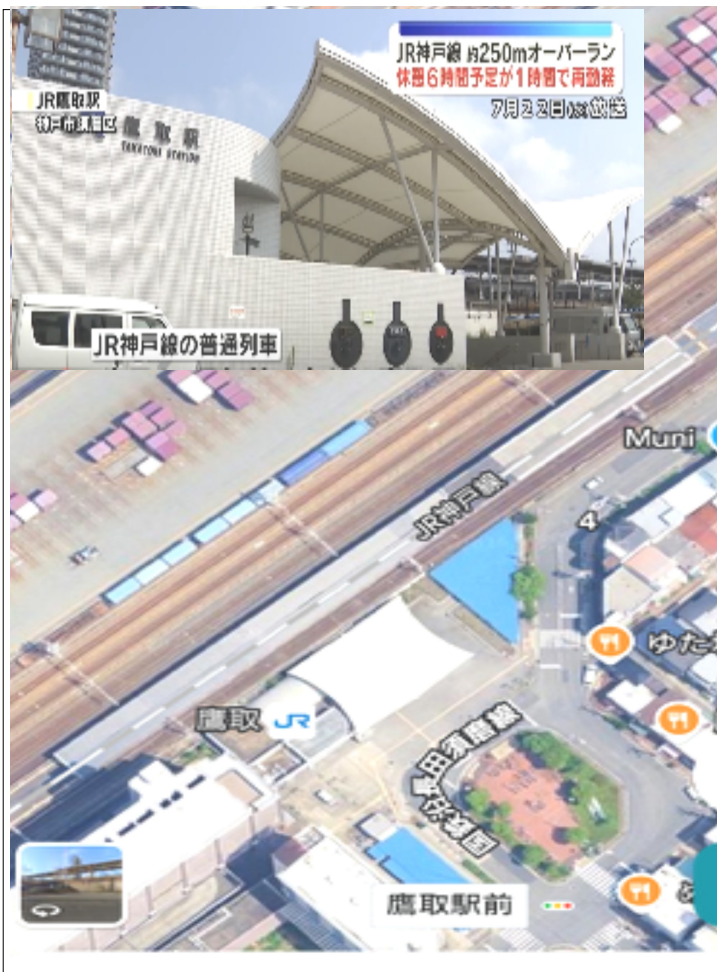
今回は、重大事故とならなかったが最悪の場合2005年4月25日の「福知山線脱線事故」になりかねない事象に、JR西日本は「福知山線脱線事故」から何も変わっていないと大きくテレビ報道された。現場で働く社員が、安心

して乗務「仕事」ができる勤務環境に改善し疲労が蓄積しない勤務制度確立することこそが「福知山線脱線事故」を繰り返さないために安全最優先を掲げるJR西日本として取組む最重要課題である。

倉坂昇治社長の会見

「ダイヤ乱れなどで多くの乗務員の休憩が不足した際には、運休も選択肢になるこの見方」を示した。

国鉄労働組合は「睡眠時間を削る列車運行は直ちに見直すことを要求」します。



乗泊でクーラー不具合が



道「安全輸送」に一番大切です。

乗泊寝室の空調故障などで、睡眠不足は重大事故発生となり、空調故障当日に日根野電車区支所（泊）乗務員に対し、会社は「感謝」の気持ちを表わす必要がある。

会社に「職場環境改善」を要求する。

全ての乗務員宿泊所・詰所を点検し悪いところは早急に改善すること。

「安全」を守るために買上げ勤務のない要員確保と適正な勤務制度の改善
睡眠時間・休憩時間を削る勤務は見直すべき
社員の皆さん!!

労働組合の垣根を越え「安心して働ける職場」にするために一緒に声をあげましょう。

ある日、夜に日根野電車区支所の男子乗泊でクーラー故障が発生し、寝室は暑く寝ていられないと寝室前の廊下で仮眠した乗務員や起床時間を早め出区電車の中で休養した運転士もいるということでしたが、早急な修理をされた関係者には「感謝」致します。

台風接近の大雨で1時間の仮眠により、停車駅通過した件から乗泊の睡眠は鉄